

尾瀬学習プログラム補足版

本補足版は、尾瀬学習プログラムに基づいて1年間「尾瀬学校」を実施した結果、さらに説明が必要であるという項目について、より実際に即した詳細な情報を提供するものです。尾瀬学習プログラムと併せてご活用ください。 平成21年4月

事前準備について

□ ガイドとの打合せについて

- 学校が、尾瀬学校において期待することや事前指導の内容、また、ガイド方針などについて、事前に話し合いをもち、学校とガイドとの共通理解を十分に図りましょう。
- ガイドは、最短でも戸倉一鳩待峠間はバスに同乗しますので、バスでの過ごし方についても共通理解を図りましょう。
- 健康上配慮すべき児童生徒がいる場合には、事前にガイドに伝えてください。

□ 事前学習について

- 児童生徒を対象にしたガイドによる事前学習は必須事項です。事前学習の方法、内容について、ガイドと十分打合せをしてください。

尾瀬に行くための持ち物について

□ 必要最小限の持ち物について

- 尾瀬学習プログラムには多くの持ち物が記載されていますが、これらの物を全て用意するというわけではありません。以下に、必要最小限な持ち物を載せますので、尾瀬学習プログラムと併せて参考にしてください。

- | | | |
|-------|----------------------|---------------|
| ◇弁当 | ◇水筒(500ml程度、ペットボトル可) | |
| ◇雨ガッパ | ◇折りたたみ傘 | |
| ◇おやつ | ◇帽子 | ◇着替え(Tシャツ、靴下) |
| ◇軍手 | ◇タオル | ◇ビニール袋(1枚) |
| ◇ちり紙 | ◇筆記用具 | ◇小銭数枚(トイレ代用) |
| ◇しおり | | |

- 歩行中は、原則として、両手を使えるように傘はさしません。
- 水筒の水は尾瀬で補給できます。

□ トイレ代について

尾瀬学習プログラムには100円程度とありますが、小・中学生のお小遣いの程度を考えると、「1回当たりの金額は100円でなくてもよいのではないか」という話し合いが、県・教育委員会・ガイドの間でもたれました。

「子どもたちに環境保全への意識をもたせるためにトイレ代はその都度入れるが、金額はいくらでもよい」という共通理解でお願いします。

□ 雨具について

山の天気は急変するため、雨具が必ず必要です。ガイドとの打合せの中で、どのような雨具を用意したらよいかを具体的に相談してください。

特別な支援を必要とする児童生徒への対応について

- 鳩待峠から山の鼻までは急な山道が3 km 以上続きます。事前打合わせの時に、ガイドに当該児童生徒の状態を詳細に説明し、入山可能かどうかを判断してください。山の鼻まで行くと、平らな木道が続きますので、尾瀬学習プログラムにあるような活動が可能です。
- 尾瀬を歩くのが困難な場合は、以下のような活動が考えられますので、事前にガイドと相談してください。

◇ 「尾瀬ぶらり館」内の展示施設の見学

◇ 大清水駐車場までのバスが手配できれば、大清水湿原の散策

(ワイド木道に車イスで入れます。)

- 一定の幅で長く続く木道等、普段の学校生活との違いから、当該児童生徒が戸惑うことも予想されます。入山する場合には、事前の下見等をもとに、保護者とも連携しながら当該児童生徒の状況に応じた配慮事項を検討し、必要な指導を行ってください。また、トランシーバーを携帯した職員配置など、安全に十分留意した人員配置を工夫してください。状況に応じて、ガイドを増やしてもらえる場合もありますので、ガイドに相談の上、群馬県自然環境課尾瀬保全推進室まで連絡してください。(TEL 027-226-2881)

安全管理・連絡体制について

□ けがや急病発生時の対応について

- 基本的にガイドと当該校の教職員が協力して救助にあたります。
- 軽度の場合は、「山の鼻ビジターセンター」にて応急処置を行うことができます。
- ガイドまたは教職員が、救助要請の必要があると判断した場合には、片品村遭難対策救助隊の連絡所がある「尾瀬ロッジ」に連絡し、症状に応じて担架搬送また

は群馬県防災ヘリコプターで対応することになります。鳩待峠からは救急車で搬送します。

- 群馬県防災ヘリコプターは無料ですが、担架搬送は有料（約8万円程度）であり、当該支出については補助金の補助対象としています。なお、加入している保険で対応できる場合には、保険を適用してください。

□ トランシーバーの活用について

- 群馬県教育委員会では、安全確保のために、トランシーバーを12台購入しました。尾瀬学校の参加校には、1校当たり、2台～数台のトランシーバーを貸し出します。
- チーフガイドも通話可能なトランシーバーを所持しています。また、山の鼻ビジターセンターには、据置型のものが設置されていますので、連絡をとることができます。
- 参加校は、鳩待峠に到着後、「鳩待山荘」にて、予め指定されたトランシーバーの数だけ借用手続きを取り、尾瀬学校終了後、「鳩待山荘」にて返却手続きをしてください。
- 1校に何台貸与できるかは、同日の尾瀬学校実施校数、1校当たりの学級数等により決定します。正式な貸与数については、割振り表を作成し、当該市町村教育委員会を通じて、参加校に連絡します。

トランシーバーを扱う際の留意事項

- ・トランシーバーは落としたり紛失したりしないように、十分気を付けて扱ってください。
- ・帰りの際には、必ず、トランシーバーの返却をお願いします。各学校で、トランシーバーの管理者を決めるなど、確実な対応をお願いします。
- ・チャンネルは「7」に合わせてください。チーフガイドのトランシーバーとも通信が可能となります。チャンネルがずれると通話できませんので注意してください。なお、他の学校のトランシーバーにもつながりますので、**交信の際には、「〇〇学校の△△先生、どうぞ」というように、交信相手を明確に指定**してください。
- ・送信の際には、トランシーバー側面の送信ボタンを押して話してください。送信ボタンを離すと受信となります。トランシーバーの貸与を受けたら、一度交信の確認をしてください。
- ・トランシーバーが故障した場合には、トランシーバーを管理している係員に申し出てください。
- ・トランシーバーは電源を入れなければ使えません。（受信もできません。）借り受けたらすぐ電源を入れ、返却するときに電源を切ってください。

【訂正】尾瀬と前橋の月別平均気温について

尾瀬学習プログラム 2 1 ページに、「前橋と尾瀬ヶ原の月別平均気温」が掲載されていますが、前橋の平均気温は、最高気温の平均 でした。正しいデータは以下のとおりです。

月別平均気温（1977～1997）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前橋	3.3	3.6	7.0	12.9	17.7	21.3	24.7	26.1	21.8	16.2	10.7	6.0
尾瀬ヶ原	-7.5	-6.6	-3.8	1.3	6.5	12.3	16.4	17.4	13.1	6.4	0.9	-4.4

